

奈良県立吉野高等学校 スクール・ミッション、スクール・ポリシー

1 スクール・ミッション

本校の使命(スクール・ミッション)	120年余の伝統を礎として、実学教育を推進し、ものづくりを通して地域社会の発展に貢献できるスペシャリストを育てます。
-------------------	--

2 スクール・ポリシー

対象期間	令和4年4月 ~ 令和5年3月	
教育方針 (スクール・ポリシー)	育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	本校では、卒業までに、以下の資質・能力の育成を目指します。 1 実学教育を推進し、自ら進んで学習し、自ら将来を切り拓くことができる。 2 卒業後、地域に根ざし、本学で学んだことを活かし、地元産業を牽引することができる。 3 進取の気概を持ち、開達に次代を担えることができる。
	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	本校では、生徒一人一人の夢と希望の実現に向け、以下の教育を行います。 1 生涯を豊かにする確かな学力を育むと共に、達成感と成就感を伴う多くの成功体験ができる教育内容を編成します。 2 実学教育を推進し、生涯にわたり学習する意欲と態度を培い、習得した専門技術を生かし、地域社会の発展や産業の振興に貢献する生徒を育てます。 3 豊かな自然環境のもとで、豊かな社会性と人間性をもつ生徒を育てます。 4 地域社会への貢献活動を通して、自己有用感や自己肯定感を持つ人材を育てます。 5 規律ある生活を通して、規範意識の育成や基本的な生活態度の涵養を図り、心身ともに健康で忍耐力のあるたくましい生徒を育てます。
	入学者の受け入れに関する方針	

「奈良県教育振興基本計画(奈良の学び推進プラン)」が示す各テーマごとの実現目標

テーマ	番号	実現目標	令和4年度末 目標値等
1 こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	1-1	体力の向上	スポーツテストの結果を踏まえ、体育の授業で体力の向上を図る。スポーツテストの7種目において、全国及び奈良県の平均値を上回ることを目指す。
	1-2	健康・安全に関する理解を深める	年に2回以上の健康・安全に関する講習会を実施する。薬物乱用防止教室、SNSの正しい使い方教室、単車実技安全講習、献血教室・がん予防教室等を計画し、実施する。
	1-3	食育を推進し、健康管理に関する知識行動を高める	家庭と連携を図り、生徒の朝食摂食率90%を目指す。健康や体にやさしい食物、適切な摂取方法を学習し、健康を意識した生活習慣を確立する。
2 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	2-1	学ぶ興味を呼び起こす	全教育活動において生徒の興味関心に応じた授業内容を精査し、学習プログラムを作成する。授業アンケートを実施し、授業改善に取り組む。
	2-2	専門学科での特色を活かした授業展開を実施	専門性に特化した内容の課題研究に取り組む。地元地域のニーズを調査し、令和3年度末に導入したスマート専門高校の機器を活用し、企画・デザインの段階から作品製作に取り組む。
	2-3	オンライン教育の推進	タブレットやスマートフォンを活用した学習教材の開発を行う。コロナ対応等で自宅学習において、100%実施できるようにする。令和3年度末に導入した情報機器を十分に活用する。
3 働く意欲と働く力をはぐくむ	3-1	将来の進路を意識し、社会人基礎力を養う	基本的な生活習慣を身に付け、あいさつ・マナーなど規範意識を向上させる。欠席日数・遅刻回数を前年比25%減を目指す。
	3-2	専門性を身に付ける(スペシャリスト)	早期に進路目標を持たせ、各種資格・検定の受検を促す。卒業までに、3つ以上の資格を有する生徒が、全校の60%を目指す。国家資格取得にも積極的に取り組む。
	3-3	キャリア教育の推進	早期に進路目標を定める指針とすべく、キャリア教育を推進し、各専門的な分野で3回以上の取組を実施する。社会人講師による授業や地元建設業・林業の企業と連携した学習活動を展開する。
4 地域と協働して活躍する人を育てる	4-1	地域連携の推進	交通安全グッズ製作・配布や各種のボランティア活動に積極的に参加する。その参加者が、全校の60%以上を目指す。地元の教育界・産業界と連携を図り、地域貢献に取り組む。
	4-2	地域の伝統・文化に関する学習の推進	全国でも有名な「吉野」地方と本校の設置意義を考え、自分たちが学習している分野で有意義な課題研究を行う。伝統技術・伝統文化を学習・修得し、次代を担う能力を培う。
	4-3	地域とともにある吉野高校の活動	地元中学校へ行事での技術協力を積極的に行う。吉中友灯工房や葉ボタン栽培、スマホ教室などに協働し活動を行う。創立120周年を迎え、地域へ感謝の意を示していく。
5 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	5-1	人権教育学習資料の活用と地域とのつながり	人権に係わる奈良県や吉野町の各種応募に積極的に参加し、人権意識の涵養に努める。人権作文・人権標語などに参加し、取組を進める。
	5-2	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	学校いじめ防止基本方針に基づく取組を推進させる。卒業までのいじめ全件追跡を実施する。また、いじめを発見した場合、適切に対応できる生徒の割合80%以上を目指す。
	5-3	個別的教育支援計画や個別指導計画の活用	生徒一人一人に寄り添った支援計画を作成する。また、要支援生徒の適性に応じて個別指導計画を作成し、全教職員で共有し、すべての教育活動でサポートする。